

平成 30 年 12 月巡視報告書

伊都ウエスト地区事業場 産業医

眞崎 義憲

巡視日：平成 30 年 12 月 18 日

巡視場所：ウエスト 5 号館 1・2・4・5 階

巡視場所	巡視内容	
【104、403、404、405、406、420-b、504、506、509、525】	・特に問題なし	
【201、実験室】		<p>・棚およびラックの固定が不十分なため転倒の危険性あり、転倒防止対策を。</p> <p>・保冷庫が転倒の危険性あり、転倒防止対策を。</p> <p>・部屋の中には、保冷庫が多数あります。保冷庫が倒れることで、避難経路を塞ぐ可能性もありますので、対策をとってください。</p>
【402、作物学実験室】		<p>・出入口 2 ヲ所設置されているが 1 ヲ所が物置き場になっており、出入りできない状態。2 ヲ所とも出入口として使えるように改善を。</p>





・ボンベ台にボンベを固定している鎖が緩く、固定が不十分です。固定する鎖は緩みがないようにしてください。



・劇薬などは、施錠できる薬品庫に保管し、使用時には期日と使用量を記録するようにしてください。また、使用している薬品の SDS はすぐに確認できる位置に配置する必要があります。

・写真の事例は、施錠、使用簿、SDS が設置され、有機溶剤使用上の注意事項も掲示されています。薬品の管理としてはよい事例です。

<p>【403】</p>	<p>写真なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラバー付ドラフトが設置されています。フッ化水素を用いた実験もあるようです。事故に備えるために、グルコン酸カルシウム軟膏を準備してください。
<p>【409、動物学実験室】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・液体窒素を補充する際は、窓を開けて換気をしながら行う事を徹底して下さい、そのためにもその旨掲示を行って下さい。
<p>【417、衛生昆虫学・昆虫産業創生学実験室】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ポンベ台にポンペを固定している鎖が緩く、固定が不十分です。固定する鎖は緩みがないようにしてください。 ・使用中の試薬を実験台に置いておくことは、実験中だけにするようにしてください。有機溶剤などは実験後、試薬庫に保管して下さい。



【505、生物保護管理学
実験室 2】



- ・ラックにゆがみがでてい
ます。また、ラックの固定が
不十分のため転倒の危険が
あります。
- ・ラックに載せるものの重
量や配置を考慮されて、落
下や転倒をしないように対
策をとってください。

【510、天敵微生物学
P1 実験室 2】



・インキュベーターなどが積み重ねて使用されています。非常に滑り落ちやすい状況です。落下の危険性が高いため、落下防止の対策をとるようにしてください。